発行者　友愛育成園
電　話　096-325-5736
ﾌｧｯｸｽ　096-325-5755
ＵＲＬ　http//www.ikuseien.com
写真は許可を得て掲載しています。
転用は、ご遠慮下さい。

ゆうあい

令和3年10月号通巻207号
令和3年9月30日発行

世界的な邪魔が入り
1ページにやむなく減量

8.9月の出来事

8月14日　作業日
28日　作業日
9月11日　作業日
25日　作業日

生活介護の様子
ＤＭ封入、フルーツキャップ折り返し、体力づくり、脳トレ、季節のぬりえや工作等を行いました。

就労継続支援Ｂ型の様子
河田印刷さん、富士甚醤油さん、山内本店さん、釜屋さん、チューインさん、オニオンさん、お菓子の香梅さん、ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙｹﾐｶﾙさんより作業を受注しました。自主製品は若葉幼愛園様、西合志南中バスケ部様より受注しました。

10.11月の予定

10月 9日　作業日
23日　作業日
11月13日　作業日
27日　作業日

同胞友愛会は10月1日で創立８０周年を迎えました

今回は80周年を記念して、友愛育成園の変遷をご紹介します。

1941年（昭和16年）
恩賜財団軍人援護会熊本県支部により遺族の援護施設として熊本市渡鹿に有子未亡人の自立更生を目的に、遺族熊本職業補導所（友愛育成園）を設立。

1947年（昭和22年）
戦災で未完成であった母子寮を移築し、職業補導所（友愛育成園）を新築。（現在地の一部）

1965年（昭和40年）
友愛授産場（友愛育成園）の園舎木造一部２階建に新築

1967年（昭和42年）

友愛授産場（友愛育成園）の園舎の残っていた平屋部分を解体し、２階建に新築

1994年（平成6年）
友愛会授産場の（友愛育成園）園舎鉄筋コンクリート造２階建を新築。

1998年（平成10年）
友愛会授産場を「友愛育成園」へ名称変更認可。そして、現在に至っております。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

職員一行月記
「私事で恐縮です」

- 食欲の秋に陥らないように自制です。【K】
- まずまず、形になってきたのか？【吾】
- 人生楽しく笑顔でこれからも(*^o^*)【☆】
- 不調だらけなのに食欲はバッチリ。【レバー】
- 敵は己【喬之介】
- 食欲の秋、体重の変化が怖い【E】
- 昼はまだ暑いのに空の高さは秋。【にゃんこ】

坂本がざれごとをつれづれと「戯れ言徒然」第一六五言

三つ子の魂

昔、戯れ言にも書かせて頂いた通り、父を師として書道を少々やっておりました。教室といっても地方公務員でしたので、副業禁止のためボランティアでした。私が小学1年の時に始めたので、父の代で四十年余り、私が引き継いで八年で、約五十年続いた教室でした。その教室も今年の3月で最後の生徒が退会し閉じさせて頂きました。

亡くなった父が孫にもと入会させ、手本をとって半ば強制的にさせていました。父は私の子が学生の時に亡くなったため、もったいないと思い私が習字教室を引き継ぎました（引き継げてびっくりでしたが）。とは言っても、晩年の十年ぐらいはほぼ身内の習字の時間みたいなものでしたが。引き継いでから、教室の代表はタダで検定を受けられるので、その間に父の持っていた段に追いつくことができました。

五十年も続いたので、父が教えた生徒がトータルで二百名を超えた頃までは聞いてましたが、晩年は病気がちでしたので最終的に何人で終わったかは聞けてませんでした。しかし、この教室の最後の生徒は解っています。うちの息子ですので。いやいややっていた習字でしたが、本当に小さい頃から始めていてよかったと思います。なんせ五十の手習いで始めたうちの山の神様は、半年持たずにギブアップしたので。

そういえば、私は父が誰に字を習ったか聞いていません。向こうに行ったら聞きたいことは増えるばかりです。

（今回は、落ちの無い話しでスミマセン。）